

年金、スライドしますか？

いつもお世話になっております。

政府は1月末頃、『マクロ経済スライド』を今年の4月から適用することを発表しました。この『マクロ経済スライド』が適用されるのは初めてのことですが、ところで皆様——『マクロ経済スライド』のこと、ご存知でしたでしょうか。

『マクロ経済スライド』とは

この仕組みは年金に関するものです。そして、そもそも年金額を決める際は物価や賃金を基に考えます。簡単に例えるならば、物価が上がれば年金額も上がる、といった具合です。そこに、物価と賃金だけではなく、『年金の支え手である現役世代の減少』や『高齢化により年金を受取る期間が延びる』ことも含めて年金額を反映させる仕組みのことです。年金財政再建の一種です。

物価や賃金が上昇した時のみ適用され、通常であれば上昇した分だけ年金額も上昇なのですが、そうではなく、現役世代の減少、平均寿命を考慮し、上昇率を下にスライドさせる、つまり、上昇幅を小さくするという仕組みです。

仕組み自体は2004年よりありましたが、続くデフレーション＝物価が下がりが続いている状態でしたので、マクロ経済スライドは今まで動いておりませんでした。

ですが今年、物価は上昇。ついにマクロ経済スライドが始動することをお知らせ致します。はたして、日本の財政を良い方向へとスライドさせることはできるのでしょうか。

始動後の効果に注目です。



メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。